



11:30～ 世話人会

12:00～ 法話会 (いのち) 13:00～ 新年会

●27年法話会 今回は「いのち」です。

DVD「ぶたがいた教室(30分)」を視聴し、「いのち」について考えましょう!

実際にあった話をもとに制作された「ぶたがいた教室」。4月、6年2組の教室。担任が一匹の子ぶたを連れてきた。「皆で育てて、最後には食べようと思う。わたしたちは、生きものを食べなくては、生きていけません。生き物を食べるということ、いのちをいただいているということ、体で体験してほしいと思う。」と提案する。

卒業を4ヶ月後に控え、「Pちゃんと名付けられた豚をどうするか」で子どもたちの真剣な意見が行き交う。

◆話し合い法座

「ぶたがいた教室」を視聴し、「いのち」について、話し合しましょう。この話し合いでは、何が正しくて、何が間違いであるということはありません。

お互いの考え・意見を認め合いながら、「いのち」について考えましょう。 (裏面に続く)

◆まとめ (次回の法話会で、詳細はお話しいたします。)

★不殺生戒(ふせっしょうかい=生きものを殺してはいけません。)

自力聖道門・じりきしょうどうもん の教え。

★不殺生戒を守れるか?

他力浄土門・たりきじょうどもん (浄土真宗 生きものを殺さずには生きられないの自覚)

★「やれ打つな 蠅が手をすり 足をする」 (浄土真宗の門徒 小林一茶 釋一茶)

殺さないでくれ。合掌して、いのちごいをしているのか、蠅よ。

「蠅ひとつ 打てば なもあみだぶつかな」(同上)

不殺生戒を護らなくてはいけないと聞いてはいるが、いのちを奪ってしまったわたし。

★いのち年(いのちのルーツをたどれば、私の年齢は、40億68歳 住職)

★一切の衆生(しゅじょう) 世々生々(せせしょうじょう)の 父母きょうだいなり

(歎異抄 親鸞聖人の言葉)

すべての生きとし生けるものは、長い間、生まれ変わり、死に変わりしながら、ある時は父になり、母となり、きょうだいとなった深い縁に恵まれた存在である。

★生きとし生けるもの(衆生)、いのちのルーツは同じ。

いのちは、平等。害してはならない。(害虫・・・人間のおごり。自己中心の考え。でも、殺さずにはおれないわたし。)

動物の世界は、生きるため最小限のいのちしか奪わないと言われている。

人間の世界は、・・・・・・・・。

大食い選手権？食べ物のぶつけ合い？（メディアにたれ流される娯楽番組。楽しんで？見る人がいるから制作される？）

食べ物の大量廃棄（食品衛生上の場合があるにしても）

【世界中には、飢餓により、餓死している、戦争によりいのちを奪われている、多くの子どもたちがいます。】

★食事の言葉（浄土真宗本願寺派）

食前（合掌） 「多くのいのちと、みなさまのおかげにより、このごちそうをめぐまれました。  
深くご恩を喜び、ありがたくいただきます。」

食後（合掌） 「尊いおめぐみをいただき、ますます御恩報謝につとめます。  
おかげでごちそうさまでした。」

### 合掌の心とは

合掌の姿は、人間の最も美しい姿のひとつだといわれています。

合掌の形は、蓮華（れんげ）の華が、今まさに咲こうとしている姿を現しています。

蓮華の華は、にぎりきった汚泥（おでい＝煩惱 ぼんのう）の中から生じながらも、汚れることなく清らか（悟り お浄土の世界）に咲くように、喜怒哀楽（きどあいらく）の生活を離れられない苦しみ、悩みのまっただ中で、救われていく、お念仏の世界をあらわしています。

お念仏を称え、阿弥陀如来の御本願に救われていくことを喜ぶ念仏者を、お経には

「是人名分陀利華 ぜにんみょうふんだりけ」＝（この人を白蓮華 びやくれんげ と名づけます。）と讃えています。

合掌